

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センターぱれっとクラブあしかが				公表日	令和8年 2月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	利用定員10名に対し、発達支援室等のスペースとの関係は適切です。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	職員の配置基準を満たしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	安全面を重視し、全体の部屋がバリアフリーです。動きやすく、使いやすいようになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	清潔な環境で過ごせるように日々清掃、消毒を行っています。療育後は、その都度消毒を徹底しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	こどもの特性、興味等を配慮し、その児にあった個別室を使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	利用児一人ひとりに計画を立て、一定期に見直しを行うため職員同士で策定会議を行い、保護者に報告しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者同士の交流の場があると良いという意見を踏まえて、保護者の研修会を実施しました。	仕事で参加できない。時間帯で都合がつかない。また開催してほしい。など意見があったので検討していきたいと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎月一回、全職員で職員会議、ケース会議を実施し情報共有を図っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	所内研修を実施しています。外部研修に参加し、所内研修で伝達講習を実施しています。	所内研修では、内容を検討し職員同士専門性の向上を図りたいと思います。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成し、ホームページで公表しています。	利用者に認知されていないので、口頭でも周知していきたいと思います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	アセスメント全体を把握したうえで、ニーズ、課題を整理し、児童発達支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	児童発達支援管理責任者を中心として、担当、他職員も参加し策定会議を行います。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	経過を強化するためにアセスメントツールを使用しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	児童発達支援ガイドラインを参考にし児童発達支援計画を作成し、計画に沿った支援が行われています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	年間での活動計画を立てて、全職員で検討しています。また随時話し合いをしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	教材について、全職員で意見を出し合い勉強をしています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	小集団療育では（年中児、年長児）を行います。利用者のニーズに応え個別、集団など一人ひとりに合わせ計画を立てます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	グループ活動時は、職員間での打ち合わせを行います。具体的な職員の役割分担を確認しています。支援終了後は、良い点、反省点を出し合い、振り返りを行い次回に向けて検討しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	誰が見てもわかるように適切に記録を取るようになっています。振り返り改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	初回面接から半年後に中間面接を行い、児童発達支援計画の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	保護者と相談支援専門員と担当あるいは、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	関係機関との連携をしています。保育所や幼稚園等の訪問を行い支援をします。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	相談支援事業所を通して、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	支援シートを利用し、こどもの特性を理解していただきます。また、就学時に学校との引継ぎを行う会議を行い情報共有を図っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	専門機関との連携を図り、情報交換を行っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	保育所や認定こども園、幼稚園など集団保育に通い、「すこやか保育」「幼稚園特別支援教育」で障害のない子どもとの関わりをもっています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日頃から保護者との情報共有に努め、何でも相談できる関係づくりを心掛けています。
保	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	今年度、同法人のほけっとクラブとの合同研修会を開催しました。また、さまざまな悩みを持つ保護者に寄り添い、支援を行っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	入所時に、施設長から説明させていただいています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	保護者と面接を行いニーズを踏まえて児童発達支援計画を作成しています。保護者に説明し、同意をいただくとともに、保護者の申し出により見直すこともできます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	随時相談に応じ、保護者と信頼関係を築くように配慮しています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	ぼけっとクラブとの合同研修会では、「井戸端会議」とする情報交換を行いました。グループワークで悩みを共感できるなど満足していただけたようでした。	次回も開催してほしいという声があがったと同時に、仕事で参加できなかったという声もあり今後の検討課題だと感じています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談については、迅速に対応できるよう心がけています。また、必要に応じ医師との療育相談を実施しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	年に2回広報誌「ぼけっと・ばれっとクラブ通信」を発行しています。HPにて発信しておりますが、SNSでの発信はしていません。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	全職員が十分注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	保護者の方と直接お話をさせていただきま	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	個人情報の守秘義務の観点から、地域の方々との交流は行っていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアルを作成し、掲示板に掲示し保護者の方に周知しています。水害を想定した訓練を、年中児、年長児グループ対象に年2回以上行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	業務継続計画（BCP）を策定し、生涯学習センター全体の避難訓練を年2回、ぼれっとクラブで年2回の水害避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	入所時、面接を実施し子どもの状況は、把握しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を作成し、怪我や事故を未然に防ぐように配慮しています。また、安全計画はホームページで公開しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットの事例集を作成し、事故防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	職員が、虐待防止の研修を受講し、全職員に伝達研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	4	入所時、児童発達支援利用契約書を締結します。その中に「身体拘束の禁止」が記載されています。		